

# Press release

報道関係各位

2021年3月30日

一般社団法人日本オフィス家具協会

## JOIFA

### オフィスにおける新型コロナウイルス感染予防ガイドライン発表 ～ワーカーの安全を守るため、オフィス対策ガイドラインでコロナ感染リスクを低減～

一般社団法人日本オフィス家具協会（事務局：東京都中央区、会長／黒田章裕、以下「JOIFA」）は、3月25日に、「オフィスにおける新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」を協会会員に向けて公開しました。このガイドラインを使って、会員企業が、コロナ対策に悩まれている企業を中心に、感染防止対策を浸透させていきます。



JOIFA は、オフィスや働き方などについての調査研究、啓蒙活動をしている団体で、現在 110 社のオフィス家具メーカー、販売会社などが加盟しています。JOIFA では、オフィス家具に関する JIS 規格、安全や環境対応のガイドラインなどを作成し、その普及に努めています。

昨年 7 月、JOIFA が、企業で働く 2000 人に向けて在宅勤務の実態についてアンケート調査を実施しました。その結果、緊急事態宣言下でも、地方都市や中小企業では在宅勤務の実施率が低いことがわかりました。すなわち、コロナ禍でも、多くの人々が従来通り通勤し、オフィスで働いているというのが実態でした。そこで、JOIFA では、オフィスで働く人の安全を守るためのコロナ対策ガイドラインの作成を開始しました。

Q:緊急事態宣言中（第1波＝2020年4月～）在宅勤務をしましたか？



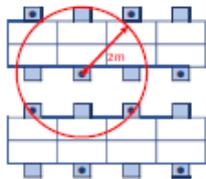
コロナ対策については、世界中の研究機関が研究成果を発表しています。JOIFA では、WHO（世界保健機関）・ILO（国際労働機関）・NIH（米国国立衛生研究所）などの文献を基に、日本のオフィスの実情に合わせて対策一覧をまとめました。

ガイドラインの第2章では、COVID-19の医学的エビデンスとして、「潜伏期間は？」「感染経路は？」「なぜ2mもの間隔を取らないといけないのか？」といった疑問を解消しています。

第3章では対策として、「2m間隔」「換気」「人数制限」「動線の一方通行」「清潔さの確保」といった5つの大項目にまとめました。

第4章では具体的な対策として一覧とオフィス内のゾーンごとの対策方法をまとめています。

対策メニューの一部は以下の通りです。



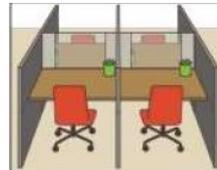
↑千鳥座による距離の確保



↑対面式以外のレイアウト



↑ロッカーエリアなどの混雑防止ルール



↑隣・対面とのパーテーション



↑コロナ対策ドアノブ

このガイドラインに対応して、会員企業各社が多種多様な対策製品やメニューを用意しております。それらを加えて安心・安全に配慮したオフィスづくりを提案することにより、コロナ感染のリスクを低減していくことを進めてまいります。

JOIFAの会員一覧はこちら

<https://www.joifa.or.jp/membership/index.html>

本件に関する報道関係からの問合せ先  
一般社団法人 日本オフィス家具協会 貫名（専務理事）  
TEL：03-3668-5588 mail：nukina@joifa.or.jp

以上